

理科2年「火山のすがた」N.G教諭

環太平洋造山帯の一部である日本は、世界的に見ても有数の地震大国であり、火山列島とも呼ばれる。火山の恵みと恐ろしさの両面から、人間の力を越えた自然のエネルギーについて理解するとともに、人間の果たすべき役割を考えることは、持続可能な開発の視点からも重要。



生徒の関心を高める



【授業の流れ】

- (1) 日本を代表する火山を動画で視聴する。
 ※溶岩が流れるものと流れないもの。
 ※伊豆大島は火山噴火で島になった。
- (2) 中心課題を提示
 「マグマの性質と火山の形には、どのような関係があるだろうか。」
- (3) 予想（仮説）を立てる。→ 生徒のつぶやきを拾いながら、授業を展開。
 ※粘り気の異なる2種類の火山で実験を行い、結果を比較する。



実験道具



グループごとに協力しながら、実験を進める。



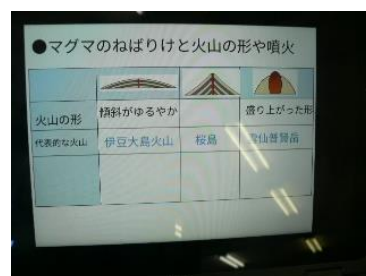
粘り気の強い火山
例（雲仙普賢岳）



粘り気の弱い火山
例（伊豆大島）



互いの班の火山の様子を確認し共有。



学習のまとめ

本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」